

株式会社 中筋組



株式会社中筋組 社屋

- 所在地
出雲市姫原町262番地
- 労働者の人数（うち障害者の人数）
112名（3名）
- 事業内容、特長・強み
総合建設業（土木・建築・港湾・上下水道）として、永年にわたり地域社会への貢献を続けている企業です。
- 大切にしていること
「はい・ありがとう・すみません」＝「素直・感謝・反省」。そんな心を持てる人づくりを進めています。

障害者雇用のきっかけについて教えてください。

現場監督業務に従事していた社員が視神経の疾病により重度の視覚障害者となった際、なんとかして雇い続けることができるよう、その社員の障害特性に応じた業務をつくり出したことがきっかけです。



中筋社長

障害者雇用にあたり意識していることや工夫していることについて教えてください。



就労中の障害者（事務職）

視覚障害の社員には、音声ガイドや文字を拡大するソフトの購入等、仕事ができる環境を整えました。

清掃業務を担当する女性社員は、事前に職場実習を繰り返し、本人の能力や体力面などを考慮し、勤務時間や清掃範囲を決めました。一週間の作業予定表を作成し、計画的に業務ができる工夫をしています。

これから障害者雇用に取り組む企業に対しメッセージをお願いします。

「障害者雇用は困難」という先入観を払拭することが大事だと思います。当社の場合、長く貢献してくれた社員が視覚障害になった時、「辞めて欲しくない、なんとか残って欲しい」という思いで障害者雇用が始まったため「無理だ」という思いを克服した経緯があります。「無理」とあきらめず出来る仕事を作り出す事が大事です。

Q

障害者を雇用したことがないので障害のことがよくわかりません。貴社では、どのような障害者を雇用されていますか。

A

当社では重度視覚障害者、精神障害者を雇用しています。

Q

障害者を雇用したことがないので、どのように障害者と関わっていいかわかりません。貴社では障害者とどのように関わっていますか。

A

島根障害者職業センターや障害者就業・生活支援センターリーフの方と連携を取り、実習中から入社後までフォローアップを受けています。

Q

障害者を雇用することは企業にとって負担になるのではないかと考えています。企業として障害者を雇用するメリットはなんですか。

A

障害の有無に関わらず「雇用」は中小企業にとって最も大切な社会貢献であり、その姿勢を貫くことは長い目で、お客様や地域の方から評価を受けることにつながると思います。

Q

当社は慢性的に人手が不足しており、障害者を雇用したとしても現場での指導体制や社内の支援体制が整えられません。貴社では、どのように体制を構築しておられますか。

A

介助者や担当者を決めておき、障害者が困ったときに、援助や相談を受けることにしています。

Q

ハローワークから障害者を雇用するよう指導されたことから、障害者雇用を進めなければいけないと考えていますが、社内全体の理解が得られない状況です。貴社が障害者雇用を進める際、同じような悩みはありませんでしたか。また、社内全体で取り組むため、なにかいい方法があれば教えてください。

A

「優秀な社員が万一、中途障害を背負うことになったら」という仮定に立ち、真剣に業務を創出することを考えれば「無理・出来ない」という固定観念は打破できると思います。

Q

当社には専門的な業務しかなく、障害者に任せられる業務がありません。専門的な業務しかない企業でも障害者を雇用することはできますか。また、貴社では障害者にどのような業務を担当してもらっていますか。

A

視覚障害の社員には、会社に有用な様々な情報の収集と社員への公開。精神障害の社員には、社内清掃業務を任せています。

Q

障害者を雇用した場合、業務上の事故により怪我をしてしまうのではないかと心配しています。貴社ではそのような心配はありませんか。

A

視覚障害者は、休職中に歩行訓練を受けたため事故の心配は少ないです。精神障害者についても業務上の安全について指導を徹底しているため事故の心配は少ないです。

Q

障害者を雇用したとしても、長く続けてもらえるか心配です。貴社ではそのような心配はありませんか。また、障害者の方が長く続けていけるよう配慮していることはありますか。

A

障害者自身の意欲が高いので、当面、離職の心配はしていません。また、障害者が孤立することがないように、折に触れ、声を掛けるようにしています。

Q

障害者雇用を進める際に利用された制度はありますか。

A

- ・トライアル雇用助成金（障害者トライアルコース）
- ・特定求職者雇用開発助成金（特定就職困難者コース）
- ・障害者チャレンジ実習などの雇用前の実習
- ・その他（島根障害者職業センターと障害者就業・生活支援センターとのフォローアップ・ミーティング）

を利用しました。

Q

障害者雇用を進める際に利用された支援機関はありますか。

A

- ・ハローワーク
- ・島根障害者職業センター
- ・出雲障がい者就業・生活支援センターリーフ

を利用しました。